

(別添7)

事業所名 グループホーム“シルバーエイジ”

2 目標達成計画

作成日：平成 23 年 11月 28日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	運営推進会議や家族会に出席しない利用者家族から、どのようにして意見や要望を吸い上げていくのか	利用者家族が気軽に職員に話しかけられる雰囲気を作る	・利用者家族来所時に、新人職員が積極的に関わる。 ・行事参加を呼びかけ参加する事で共有の時間を多く持つ。	12ヶ月
2	9	現在の生活状況の記録が不十分で情報を共有しにくい	現在使用しているセンター方式のシートの追記が習慣化できる	・気付いた事を追記する習慣をつける。 ・追記が解るように記載する(年月日を付け加える等) ・センター方式以外のアセスメントシートの改善。	12ヶ月
3	20	各居室の環境整備が不十分である。 (高齢化による体力、意欲低下が見られる)	職員と利用者が一緒に環境整備に努め、快適に暮らせるようにする	・職員の根気強い声掛け(声掛けの工夫、タイミングを図りながら) ・出来ないところのフォローを職員が常に意識づけ整理、整頓を心掛ける。	12ヶ月
4	アウトカム項目	職員の入れ替りで、サービスの成果が以前より低下している	前回と同じレベルの取り組みの成果に持っていく	・職員同士がチームケアを意識して関わる。 ・利用者本位を常に考え行動に移す。 ・利用者家族との信頼関係を築く。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。